

平成 30 年 11 月 29 日

第 6 回 岡山県医療情報技術研究会

晩秋の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心よりお喜び申し上げます。

さてこの度、第 6 回岡山県医療情報技術研究会を下記の日程で開催する運びとなりました。昨年 4 月に医療情報に特化した職能団体「岡山県医療情報技術研究会」を発足し、医療情報について専門性を高め、研鑽することで、参加者が新たな可能性を見出し、新たな勉強の場を見つける事ができる環境構築を目指し開催しております。

ご参加の皆様と活発な議論をし、共に考える場となることを期待しております。お誘いあわせの上、皆様方の多数のご参加をお待ちしております。

岡山県医療情報技術研究会(OHITA) 事務局

- 【日時】 平成 31 年 1 月 26 日 (土) 13:30~17:00 (受付:12:30~)
- 【場所】 岡山赤十字病院 (会場:南館 1 階 研修室)
〒700-8607 岡山県岡山市北区青江二丁目 1 番 1 号
- 【内容】 技術講演
「医療業界におけるデジタルレイバーの活用事例と今後の展開について」
シンポジウム
「病院情報システムダウンから業務継続計画を一緒に考えてみよう」
- 【参加費】 会員:1,000 円 非会員:2,000 円 学生:無料※社会人学生を除く
研究会、懇親会ともに WEB からの事前申込みが必要です。
- 【参加申込】 下記のサイトよりお申込みください。 ※締切:平成 31 年 1 月 18 日 (金)
<http://okayamahita.web.fc2.com/>
- 【ポイント】 医療情報技師 3 ポイント
公認医療情報システム監査人 (補) 2 ポイント
- 【募集定員】 150 名
- 【実行委員】 岡山市立市民病院 岡田 敏明
三宅医院 川崎 数馬
高梁中央病院 難波 潤
岡山協立病院 名里 明泰
OHITA 事務局

主催:岡山県医療情報技術研究会

後援:日本医療情報学会 中国四国支部、中国医療情報技師会、広島県医療情報技師会、
島根医療情報技術フォーラム、山口医療情報システム研究会、
山陰文化圏医療情報技術研究会、瀬戸内医療情報ネットワーク (せとねっと)、
岡山県病院協会、岡山県医師会、岡山市医師会、岡山県看護協会、岡山県病院薬剤師会、
岡山県理学療法士会、岡山県作業療法士会、岡山県言語聴覚士会、
岡山県臨床工学技士会、岡山県臨床検査技師会、岡山県診療放射線技師会 ※他依頼中

第6回 岡山県医療情報技術研究会 プログラム

総合司会：三宅医院 川崎 数馬

第1部 <技術講演>

座長：岡山市立市民病院 岡田 敏明

13:30～14:30

『医療業界におけるデジタルレイバーの活用事例と今後の展開について』

RPA テクノロジーズ株式会社 セールス&デリバリー部 部長 岡部 篤史 様

14:30～14:50

休憩

第2部 <シンポジウム>

座長：岡山協立病院 名里 明泰 / 高梁中央病院 難波 潤

14:50～15:50

『病院情報システムダウンから業務継続計画を一緒に考えてみよう』

東京都立広尾病院 減災対策支援室 副室長 中島 康 様

15:50～16:20

① 「放射線部門のBCP策定 現状と課題」

岡山赤十字病院 放射線治療係長 木村 洋司 様

② 「当院のBCPに関する取り組み状況について」

～災害拠点病院としての使命、そして私の使命～

岡山市立市民病院 システム課主任 萩原 健治 様

③ 「災害時の病院情報システムはどうあるべきか」

～システム管理者の立場から～

岡山旭東病院 情報システム室室長 榊原 祥裕 様

16:20～16:50

『シンポジスト4名によるフリーディスカッション』

16:50～17:00

事務局連絡・閉会

18:30～20:30

懇親会（場所：磨屋町キッチン PACO 予算：4,000円）